

水飴幽霊・益田市西平原町

令和3年4月13日掲載

収録・解説・酒井 董美たまたよし

イラスト・福本 隆男



語り手 佐々木マツコさん
 (昭和5年生まれ)
 収録・平成5年7月21日

あらすじ

あるところに水飴屋さん
 があったらうて。
 ある晩にもものすごい足音
 がしてくるんですって。
 そしてとんとんと戸をた
 たく音がするんですって。水
 飴屋がそれから戸を開けて
 見たら、何か柴の葉っぱみた
 いなもんをたくさん持った女
 の人が来ていて、
 「水飴をねえ、ください」って
 言うんですって。

それからお店の人がねえ、
 水飴渡したけれども、
 「どうもおかしい」と思って
 ね、後をつけて行ったら、お
 寺のそばの墓の方へ行つて姿
 が消えてしまったのでねえ、
 そこへ行ってみたら、何だか赤
 ちゃんの泣き声があるんで
 す。それで、店屋の人はもう
 びつくりしてねえ、後からお
 墓を掘ったら赤ちゃんが生
 きていたんだそうです。それ
 でその赤ちゃんをだいに育
 てたそうです。

これは女の人が死んで、墓

に埋められてから赤ちゃんが
 生まれたので、その女の人
 はわが子かわいさの一念から、
 水飴屋へ赤ちゃんの食べる水
 飴を買いに来ていたものなん
 です。ねえ。そんな話をわたし
 は小さいときに父からよく
 聞かされましたんですよ。

解説

関敬吾『日本昔話大成』で
 は本格昔話の「誕生」の中の
 「子育て幽霊」として話型
 が、次のようにして登録され
 ている。

- 一四七A 子育て幽霊
- 1、妊婦が死んだので葬
 る。2、(a)幽霊になって毎晩
 同じ時刻に一文銭を持って
 飴を買いに来る。または(b)地
 中で子供が生まれた夢を見
 せる。3、墓を掘ると屍が生
 きている男児を抱いている。
 買った飴がかたわらにある。
 - 4、子供を救い出して育て
 る。(後に名僧になる)。

この話は特定の村の寺院の
 墓地と結びついて伝説化して
 各地に伝えられている場合
 も多い。同じ益田市高津の

教西寺では、その墓場で生
 まれた男の子が、成長して
 大厳和上という偉い僧侶に
 なったと伝説として存在し
 ている。鳥取県岩美町では曹
 洞宗の傑僧である通幻禅師
 もそうして生まれたとして
 伝えられている。出雲地方に
 例を求めると松江市中原町
 の大雄寺の話ということにな
 り、これは明治の昔、ラフカ
 デイオ・ハーン、つまり小泉八
 雲も採集しており、八雲の
 文章で広く知られるように
 なり、「子育て幽霊」といえば
 松江市が本場のように思わ
 れていることが多いが、決して
 そうではない。

稲田浩二他編『日本昔話
 通観』で調べると、類話の認
 められていないのは、北海道
 のほかに岩手、栃木、千葉、
 神奈川、宮崎のわずか五県
 に過ぎないのである。

生まれた子どもの性別を
 見ると男性とするのが四四
 例、女性が八例、性別につ
 いて触れられていないのが一
 ○例となっている。男性の場
 合は墓のある寺に預けられ、
 後に名僧になったと物語が
 つながることが多いのである。

(元島根大学法文学部教授)

